

ちば 県民だより

編集・発行 / 千葉県総合企画部報道広報課 〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号 TEL 043-223-2241 FAX 043-227-0146

県人口 6,282,811人(対前月比949人減) 男 3,120,843人 / 女 3,161,968人 世帯数 2,798,026世帯(対前月比1,058世帯増) [令和2年9月1日現在]

もくじ

あなたにも知ってほしい「里親制度」……………2面	パラスポーツフェスタちば2020開催!……………5面
新型コロナウイルス接触確認アプリを活用しましょう…3面	県民ひろば……………6~7面
くらしと地域の発展を支える道づくり……………4面	チーバくんの今日はどこ行く?……………8面

10月号

通算第511号
毎月5日発行(1月のみ1日発行)

県庁代表電話 043-223-2110

パソコン・スマートフォン版

<https://www.pref.chiba.lg.jp/>



スマートフォンアプリ「マチイロ」で「ちば県民だより」が見られます

家庭のあたたかさを、子どもたちへ

「里親制度」

さまざまな事情で家族と暮らすことができない子どもたちを、家庭に迎え入れて育てる「里親制度」。県内でも多くの子どもたちが、里親の深い愛情の下で育てられています。

里親制度は、地域全体で子どもの成長を支援する公的な養育制度です。児童相談所や児童養護施設、里親のネットワークなど、さまざまな機関がその生活をサポートし、里親と一緒に子どもの健やかな成長を支えています。

子どもたちを、里親と地域全体で育てていくこのあたたかい制度に、ぜひ皆さんも関心を持っていただき、理解を深めていただけたらと思います。

千葉県知事 **森田 健作**

里親とは

里親とは、保護者の病気や虐待など、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちを、保護者に代わって、家庭的な雰囲気の中で愛情深く育ててくださる方のことです。

里親の下で暮らすことで、子どもは特定の大人と愛着関係を築くことができます。この信頼関係や絆は、他者との関わり方や社会性を築く基盤となり、自己肯定感を高め、心身共に健康に生活していく支えにもなります。また、子どもが将来自分で家庭を築くときのために、「家庭」のモデルを知ることができます。

子どもの成長をみんなで支える

児童相談所や児童養護施設、児童家庭支援センター、市町村に加え、里親会、里親を支援するNPO法人など、多くの施設や団体が里親をサポートし、子どもの成長を地域全体で支えています。

里親が抱える不安や悩みにも、児童相談所やさまざまな支援機関が相談に乗り、サポートしています。



(写真はイメージです)

養育のかたちはさまざま

乳幼児の頃から長期間養育することもあれば、半年から一年程度の短期間、養育する場合もあり、養育する期間や年齢はさまざま。子どもと里親にとって一番いいかたちを探します。

養育里親

さまざまな事情で家族と暮らせない子どもを、一定期間、自分の家庭で養育する里親

養子縁組里親

子どもと養子縁組をし、法的な親子関係を結ぶことを前提として養育する里親

多くの子どもに、家庭のあたたかさを

現在、さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもは、日本全体で約45,000人。千葉県内でも約1,300人おり、そのうち、里親の下で暮らす子どもは約300人で、里親の数が足りていないのが現状です。関心をお持ちの方は、イベントに参加してみるなど、まずは一歩、踏み出してみませんか。

◆掲載の情報は、令和2年9月23日(水)時点のものです。最新の情報は各問い合わせ先にご確認ください。

感染しない・させないために みんなで取り組みましょう



手洗いの徹底
マスクの着用



距離を保とう
できるだけ2m
(最低1m)



3密を回避
密閉・密集・密接